

## .研究成果の刊行一覧表

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
井出眞、横山倫子、吉崎和幸	キャッスルマン病におけるトシリスマブの使い方と注意点	リウマチ科編集委員会	リウマチ科	科学評論社	東京	2018年8月	第60巻・第2号 124-132
角田慎一郎、吉崎和幸	Castleman病の診断と治療の進歩		日本臨牀	(株)日本臨牀社	東京	2018年7月	第76巻・第7号 1256-1261
矢野慎吾、吉崎和幸	キャッスルマン病を理解しよう	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1291-1302
藤田進也、岡本真一郎	キャッスルマン病の疾患概念と疫学	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1303-1307
古賀智裕、川上純	キャッスルマン病の病因・病態	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1309-1313
中里宣正、小島勝	キャッスルマン病のリンパ節組織像	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1315-1318
川端浩、藤本信乃、坂井和之、岩男悠、河南崇典、藤田義正、福島俊洋、水田秀一、正木康史	キャッスルマン病の診断の進め方	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1319-1324
水木満佐央	キャッスルマン病の重症度分類	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1325-1330
角田慎一郎	特発性中心性キャッスルマン病の臨床像	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1331-1337

生島壮一郎	多中心性キャッスルマン病の肺病変	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1338-1343
水谷実	特発性多中心性キャッスルマン病の治療と予後	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1345-1348
瀬戸口京吾	単中心性(限局型)キャッスルマン病	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1349-1355
古賀智裕、川上純	キャッスルマン病に対する新たな治療法の開発	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1356-1359
矢野真吾	本邦におけるキャッスルマン病の診療体制の構築	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1360-1364
井出眞	日本における国際キャッスルマン病研究団体(CDCN)との連携について	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1365-1369
正木康史、藤本信乃、黒瀬望、川端浩	TAFRO症候群とキャッスルマン病	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1371-1376
青木定夫	IgG4関連疾患とキャッスルマン病	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1377-1382
永井友莉恵、堺田恵美子、中世古知昭	POEMS症候群とキャッスルマン病	成人病と生活習慣病編集委員会	成人病と生活習慣病	(株)東京医学社	東京	2018年12月	第48巻・第12号 1383-1389

正木康史、 藤本信乃、 黒瀬 望、 川端 浩	特発性多中心性キ ャッスルマン病		新薬と臨牀	医薬情報 研究所	東京	2019年 4月	第68巻・ 第4号 77-81
川端浩、 藤本信乃、 坂井知之、 岩男悠、 河南崇典、 藤田義正、 福島俊洋、 水田秀一、 正木康史	キャッスルマン病		Progress in Medicine	(株)ライ フ・サイ エンス	東京	2018年 12月	第38巻・ 第12号 1283-1288
藤本 信乃、 川端浩、 正木康史、 高井和江、 塚本憲史、 石垣靖人、 黒瀬望、 小島勝、 中村栄男、 木下朝博、 青木定夫	AFRO症候群の治 療戦略 後方視的 多施設共同研究の 解析	小松則夫	臨床血液	一般社団 法人日本 血液学会	東京	2018年 9月	第59巻・ 第9号 1490-
黒瀬望、 藤本信乃、 川端浩、 正木康史、 高井和江、 青木定夫、 小島勝、 中村栄男、 山田壮亮	TAFRO症候群を 伴う/伴わない特発 性多中心性Castle man病の節性病変 の臨床病理学的な 比較とその節外性 病変の検討		日本リンパ網 内系学会会誌	一般社団 法人日本 リンパ網 内系学会	東京	2018年 5月	第58巻・s uppl 123
中山瞳、 菊池拓、 安部涼平、 戸澤圭一、 綿貫慎太 郎、 清水隆之、 三ツ橋雄 之、 村田満、 岡本真一 郎、 森毅彦	Tocilizumabが奏 効した多中心性Ca stleman病合併Ev ans症候群	小松則夫	臨床血液	一般社団 法人日本 血液学会	東京	2018年 9月	第59巻・ 第8号 997-1001

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Makoto Ide, Kazuyuki Yoshizaki, et. al.	International, evidence-based consensus treatment guidelines for idiopathic multicentric Castleman disease	Blood	132	2115-2124	July 2018
Makoto Ide, Tomoko Yokoyama, Tetsuro Ogino	Tuberculous lymphadenitis mimicking Castleman disease-like histological features	International Journal of Hematology	109	245-246	March 2019
Koga T, Kawakami A, Yoshizaki K. et. al.	A benefit and the prospects of IL-6 inhibitors in idiopathic multicentric Castleman's disease.	Mod Rheumatol.	29(2)	302-305	March 2019
Nakatsuka Y, Handa T, Uno K, et.al.	Serum matrix metalloproteinase levels in polymyositis /dermatomyositis patients with interstitial lung disease.	Rheumatology (Oxford)			March 2019
Koga T, Kawakami A, et. al.	Rheumatoid arthritis-like active synovitis with T cell activation in a case of idiopathic multicentric Castleman disease: A case report.	Medicine			March 2019
Kurose N, Nakamura S, Kawabata H, Masaki Y, Aoki S, et. al.	The clinicopathological comparison among nodal cases of idiopathic multicentric Castleman disease with and without TAFRO syndrome.	Hum Pathol.	77	130-138	July 2018

Kurose N, Nakamura S, Kawabata H, Masaki Y, Takai K, Aoki S, Kojima M, et. al.	An extranodal histopathological analysis of idiopathic multicentric Castleman disease with and without TAFRO syndrome.	Pathol Res Pract.	215	410-413	March 2019
Koga T, Sumiyoshi R, Kawakami A, Yoshizaki K.	A benefit and the prospects of IL-6 inhibitors in idiopathic multicentric Castleman's disease.	Mod Rheumatol	29(2)	302-305	March 2019
Kurose N, et. al.	Remission of Refractory Ascites and Discontinuation of Hemodialysis after Additional Rituximab to Long-term Glucocorticoid Therapy in a Patient with TAFRO Syndrome.	Intern Med.	57	1433-1438	May 2018
Kurose N, Masaki Y, et. al.	Intravascular large B-cell lymphoma involving large blood vessels.	Pathol Int.	69(2)	97-103	February 2019
Kawabata H, Kurose N, Masaki Y, et al..	A case of osteosarcoma manifesting systemic inflammation and histological features mimicking plasma cell type Castleman disease.	Intern Medicine			in press 2019
Fujimoto S, Koga T, Kawakami A, Kawabata H, Okamoto S, Mizuki M, Yanase S, Ide M, Unose K, Yagi K, Kojima T, Mizutani M, Tokumine Y, Nishimoto N, Fujiwara H, Nakatsuka S, Shiozawa K, Iwaki N, Masaki Y, Yoshizaki K.	Tentative diagnostic criteria and disease severity classification for Castleman disease: A report of the research group on Castleman disease in Japan.	Mod Rheumatol.	28(1)	161-167	2018

Masaki Y, et. al.	Bortezomib plus dex amethasone versus tce halidomide plus dex amethasone for relap sed or refractory mu ltiple myeloma.	Cancer Scien			in press 201 8
Yoshifuji H, et. al.	TAFRO syndrome co mplicated with occlu sion of multiple cerep bral arteries.	Mod Rheum atol Case Re	Vol.2	214-220	May 2018